



第2期オーガニックなまちづくりアクションプラン 全体イメージ 木更津SDGs推進モデル

ORGANIC CITY PROJECT

(期間：2020・2023年度)

自然に寄り添い、学び、経済が循環する
自立した共生社会をめざす

3つのプロジェクトを連携して進め、木更津SDGs推進モデルを形成

N°01 経済循環を高める食×農プロジェクト

基本理念1：地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする人を育てる

N°02 木更津発 脱炭素化プロジェクト

基本理念2：自然と共に発展する持続可能なまちの基盤を整備する

N°03 支え合いによる防災・減災プロジェクト

基本理念3：多様なあり方を認め合い、支え合う、自立した地域社会の仕組みを構築する

木更津のオーガニックとは？

木更津市では、2016年12月に「オーガニックなまちづくり条例」を施行し、3つの基本理念に沿い、地域一体となって持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

「オーガニック」は、「有機」「有機的な」と訳され、「人間の体のように、体を構成する臓器や細胞などの各部分が、それぞれの機能を持ちながら、つながりあって、バランス良く連携・補完し合っている様子」を意味します。この様子を仮に「まち」に当てはめると、まちを構成する多様な主体が、自ら考え、それぞれの役割を果たし、互いにつながり、支え合っていくことです。本市では、この「オーガニック」を、持続可能な未来を創るため、地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする考え方で定義し、ふるさと木更津への思いを共有する市民や企業などの力を結集する旗印として掲げ、本市を持続可能なまちとして、次世代に継承していくことをめざしています。

また、世界では2015年9月の国連サミットにおいて、2030年を年限とした「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。SDGsは、多様なステークホルダーの参画のもと、経済、社会、環境の三側面を不可分のものとして扱い、統合的な取組を通じて、持続可能でより良い世界をめざすものであります。

本市は、アクションプランを経済、社会、環境の統合的な発展を進める「木更津SDGs推進モデル」として推進し、SDGsの達成に貢献していきます。

ICTを最大限に活用し、
各プロジェクトの推進力の向上を図る

AI

IoT

ロボティクス

BIG DATA

第2期オーガニックなまちづくりアクションプランの取組の詳細については、
木更津市公式ホームページ(<https://www.city.kisarazu.lg.jp>)をご覧ください。

